

# プロダクトデザインを核とした商品企画・製品デザイン開発

プロダクトデザインを核としてパッケージデザイン、プロモーションデザイン、ブランド構築など製品の商品化に関わるデザインを支援

## 従来技術と研究技術の比較

従来、独自に研究されていた素材の用途開発と製品デザインについて、製品デザインの研究と実践を通して素材の用途開発や新領域への商品開発、地場産業における新商品開発の支援を行います。

## 実用の可能性

下記の項目で研究事例があります。

- 1) 製品デザイン
- 2) 新商品プロデュース
- 3) 地場産業新商品開発支援

## 技術の裏付

- 1) 製品デザイン
  - ・スタイリング開発
  - ・コンセプトデザイン
  - ・実施デザイン
  - ・デザイン管理実用例：バイク、靴、コーンクラッシャー  
ワイヤレス色測定器  
→ (2011年 iF デザイン賞)
- ・製品（商品）が「誰が・何処で何時・何のため使う」を考慮し使う人の立場からデザインする「使い勝手」を一番に考えます。

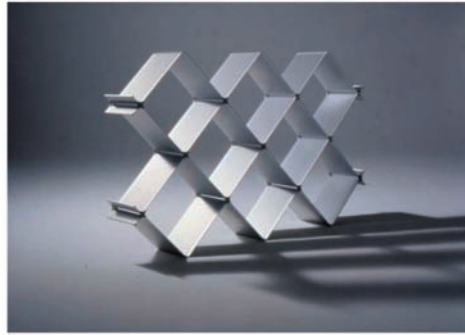
## 新商品プロデュース

- ・製品に関わるユーザー調査
  - ・商品コンセプト開発
  - ・製品デザイン
  - ・商品プロデュース
- 実用例：棚、子供家具



## 地場産業新商品開発支援

- ・新領域市場調査
  - ・商品企画
  - ・製品デザイン
  - ・商品プロデュース
- 実用例：輪島漆器、  
某料亭の器



### 研究者

京都工芸繊維大学  
大学院工芸科学研究科  
デザイン学部門

教授 山本建太郎

広領域インダストリアル  
デザイン

### 研究テーマ

- ・地域ブランドの創成
- ・伝統産業活性化のためのデザイン
- ・ブランド構築のためのデザイン